



2021年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2020年8月5日

上場会社名 グレイステクノロジー株式会社
 コード番号 6541 URL <https://www.g-race.com>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 飯田智也

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 大池信之

TEL 03-5777-3838

四半期報告書提出予定日 2020年8月7日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第1四半期の業績(2020年4月1日～2020年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	410	1.9	209	21.9	210	22.9	145	29.7
2020年3月期第1四半期	403	5.7	172	477.2	171	484.0	112	466.4

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	10.30	10.08
2020年3月期第1四半期	8.12	7.84

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第1四半期	2,638	2,260	85.7
2020年3月期	2,762	2,237	80.9

(参考)自己資本 2021年3月期第1四半期 2,260百万円 2020年3月期 2,235百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期				15.00	15.00
2021年3月期					
2021年3月期(予想)					

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2. 2021年3月期の配当予定額は、未定であります。

3. 2021年3月期の業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,300	20.8	1,173	23.0	1,166	23.1	800	21.3	56.62

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2021年3月期1Q	14,199,300 株	2020年3月期	14,128,500 株
------------	--------------	----------	--------------

期末自己株式数

2021年3月期1Q	181 株	2020年3月期	181 株
------------	-------	----------	-------

期中平均株式数(四半期累計)

2021年3月期1Q	14,129,875 株	2020年3月期1Q	13,823,882 株
------------	--------------	------------	--------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3頁「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(セグメント情報等)	6
3. その他	7
継続企業の前提に関する重要事象等	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

① 業績の状況

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、世界的な新型コロナウイルス感染拡大により急激に減速し、多くの業種に景況悪化の影響が及んでおります。国内では、緊急事態宣言解除後、段階的な経済活動再開の動きがみられるものの、足元では新型コロナウイルスの新規感染者数の推移や世界的な感染拡大は依然収束が見えず、今後の先行きには予断を許さない状況となっております。国内大手メーカーでは、先進技術に対応するための研究開発投資、及び人手不足に対応するための省力化投資、並びに老朽化した設備の更新等を積極化しており、『マニュアルを「本当に使えるもの」にし、「無駄な経費・工数のかからない」品質の高いマニュアルの普及に努める』という当社の使命と市場ニーズとの適合性が高まっております。

このような経済環境の下、当社では、付加価値の高い製品・サービスの提供に積極的に取り組み、受注・売上・収益の拡大に努めてまいりました。

経営戦略につきましては、当社の主力サービスである「e-manual」の導入促進を積極的に図った結果、「e-manual」の導入社数は52社となりました。今後もより一層、「e-manual」「GRACE VISION®」の普及に努めてまいります。

2019年11月に設立した米国子会社 GraceVision Inc.につきましては、米国内での新型コロナウイルスの感染拡大により、現在、稼働を停止しておりますが、引き続き、今後の感染拡大状況の把握に努めてまいります。

また、成長のスピードを速めるために、シナジー効果が期待できる企業へのM&Aや事業提携等を引き続き積極的に検討してまいります。

技術面につきましては、「e-manual」及び「完全誘導型AIマニュアル」である「GRACE VISION®」の機能向上に引き続き取り組んでおります。

営業面につきましては、クライアントからの「高品質なマニュアル」への要求の高まりから、コンサルティング案件及び「e-manual」の導入社数が増加いたしました。

以上の結果、当第1四半期累計期間における業績は、売上高410,896千円（前年同期比1.9%増）、経常利益210,473千円（同22.9%増）、四半期純利益145,589千円（同29.7%増）となりました。

当第1四半期累計期間の業績をセグメント別に示すと、次のとおりであります。

(MMS事業)

MMS事業においては、上記のとおり、「e-manual」サービスの導入促進及びコンサルティング案件の獲得を積極的に図った結果、売上高は334,147千円（前年同期比43.5%増）、セグメント利益は236,980千円（同76.5%増）と大幅な増益となりました。

(MOS事業)

MOS事業においては、MMS事業の案件獲得に営業リソースを集中させた結果、売上高76,749千円（前年同期比54.9%減）、セグメント利益41,301千円（同57.1%減）となりました。

② 売上高の季節的変動について

当社の主要顧客先は国内大手メーカーであることから、国内大手メーカーの予算執行期日が事業年度末である3月および9月に集中する傾向にあるため、当社の売上高の計上時期が第2四半期会計期間と第4四半期会計期間に偏る傾向が高い反面、販売費及び一般管理費は各四半期毎に概ね均等に発生するという季節的変動要因があります。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期会計期間末の総資産は2,638,734千円となり、前事業年度末に比べて123,658千円の減少となりました。

(流動資産)

流動資産は2,509,832千円となり、前事業年度末に比べて165,231千円減少となりました。これは主に、受取手形及び売掛金が147,030千円増加した一方で、現金および預金が298,185千円減少したことによるものであります。

(固定資産)

固定資産は128,901千円となり、前事業年度末に比べて41,572千円増加となりました。これは主に、無形固定資産が47,805千円増加したことによるものであります。

(流動負債)

流動負債は362,707千円となり、前事業年度末に比べて137,430千円減少となりました。これは主に、未払法人税等が132,819千円減少したことによるものであります。

（固定負債）

固定負債は15,143千円となり、前事業年度末に比べて9,738千円減少となりました。これは主に、社債が5,000千円減少したことによるものであります。

（純資産）

純資産合計は2,260,883千円となり、前事業年度末に比べて23,510千円増加となりました。これは主に、配当金の支払い等により利益剰余金が66,334千円減少した一方で、新株予約権の行使に伴い、資本金が45,412千円、資本剰余金が45,412千円増加したことによるものであります。

（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、前回発表（2020年5月13日）の業績予想からの変更はありません。新型コロナウイルスの世界的な感染拡大に伴い、今後の世界経済の先行きへの懸念が非常に高まっております。これまでの所、当社の業績に大きな変調は見受けられませんが、今後の業績推移等によって通期業績予想の見直しが必要と判断した場合には、速やかに開示いたします。

なお、業績予想につきましては、本資料の発表日において入手可能な当社の主要顧客先である国内大手メーカーの情報に基づき当社で判断したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (2020年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,751,577	1,453,391
受取手形及び売掛金	839,229	986,260
仕掛品	216	1,452
その他	84,040	68,728
流動資産合計	2,675,063	2,509,832
固定資産		
有形固定資産	32,889	31,081
無形固定資産	18,080	65,885
投資その他の資産	36,360	31,934
固定資産合計	87,329	128,901
資産合計	2,762,393	2,638,734
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	92,522	111,180
1年内償還予定の社債	30,000	30,000
1年内返済予定の長期借入金	9,996	9,996
未払法人税等	197,140	64,321
その他	170,478	147,209
流動負債合計	500,137	362,707
固定負債		
社債	10,000	5,000
長期借入金	5,018	2,519
その他	9,864	7,624
固定負債合計	24,882	15,143
負債合計	525,019	377,850
純資産の部		
株主資本		
資本金	200,451	245,864
資本剰余金	463,809	509,222
利益剰余金	1,571,744	1,505,410
自己株式	△348	△348
株主資本合計	2,235,657	2,260,148
新株予約権	1,715	735
純資産合計	2,237,373	2,260,883
負債純資産合計	2,762,393	2,638,734

(2) 四半期損益計算書
(第1四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
売上高	403,044	410,896
売上原価	115,996	72,449
売上総利益	287,047	338,446
販売費及び一般管理費	114,771	128,478
営業利益	172,275	209,968
営業外収益		
受取利息	1	736
営業外収益合計	1	736
営業外費用		
支払利息	220	171
売上債権売却損	851	60
営業外費用合計	1,072	231
経常利益	171,204	210,473
税引前四半期純利益	171,204	210,473
法人税、住民税及び事業税	46,394	60,432
法人税等調整額	12,565	4,450
法人税等合計	58,959	64,883
四半期純利益	112,245	145,589

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期累計期間（自 2019年4月1日 至 2019年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期損益 計算書計上額 (注2)
	MMS事業	MOS事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	232,854	170,190	403,044	—	403,044
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	232,854	170,190	403,044	—	403,044
セグメント利益	134,291	96,311	230,603	△58,327	172,275

(注) 1. セグメント利益の調整額には、各報告セグメントに配賦しない全社費用が含まれており、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期財務諸表の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期累計期間（自 2020年4月1日 至 2020年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期損益 計算書計上額 (注2)
	MMS事業	MOS事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	334,147	76,749	410,896	—	410,896
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	334,147	76,749	410,896	—	410,896
セグメント利益	236,980	41,301	278,282	△68,313	209,968

(注) 1. セグメント利益の調整額には、各報告セグメントに配賦しない全社費用が含まれており、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期財務諸表の営業利益と調整を行っております。

3. その他

継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません